



# 中小企業による環境経営の普及促進事業

2019年度要求額  
22百万円（19百万円）

## 背景・目的

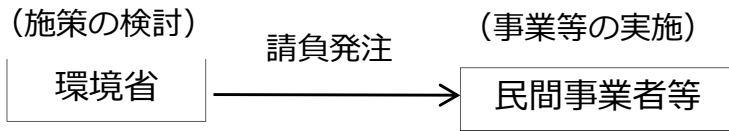
- 環境問題の解決には、経済の主体である企業が、適切な経営者の関与の下、組織的かつ戦略的なPDCAサイクルを構築し、持続可能な環境経営を実践することが必要。また、環境経営は自社のビジネスリスクの低減や機会獲得に資する取組として見直され、経営戦略の一つの柱として据える動きが加速化。
- 大企業等は、環境マネジメントシステム（EMS）を導入し、環境経営の実効性を向上させているが、そのバリューチェーン先でもある多くの中小企業は、EMSの構築・運用ノウハウを十分に有しておらず、環境経営の導入が進んでいない結果、環境取組が一過性に終わり、環境改善が進まないという課題に直面。

## 事業概要

- 中小企業への環境経営の普及促進事業
  - ・エコアクション21（EA21）ガイドライン2017年版、業種別ガイドラインの普及のための全国セミナーやシンポジウムを開催。
  - ・「働き方改革」とCO2削減等の両立を目指すツールを利用するなど2017年版ガイドラインの理念及びそれに整合的なSDG等の理解が深い審査員を増やすための取組の促進
  - ・大企業等のバリューチェーンでのEA21の普及に向けた課題の整理
  - ・EMSの国際的動向についての調査
- 環境経営促進のための動向調査
  - ・事業者（上場・非上場企業）の環境配慮行動の動向調査（環境にやさしい企業行動調査）を統計法に基づき実施

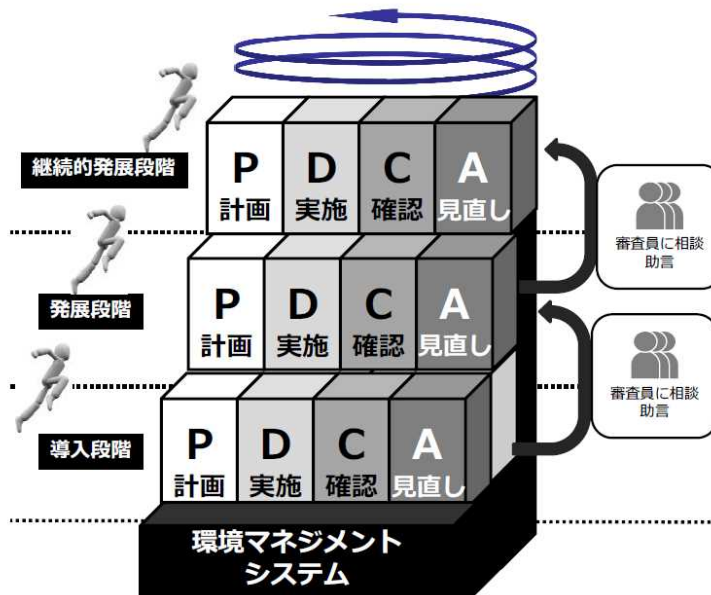
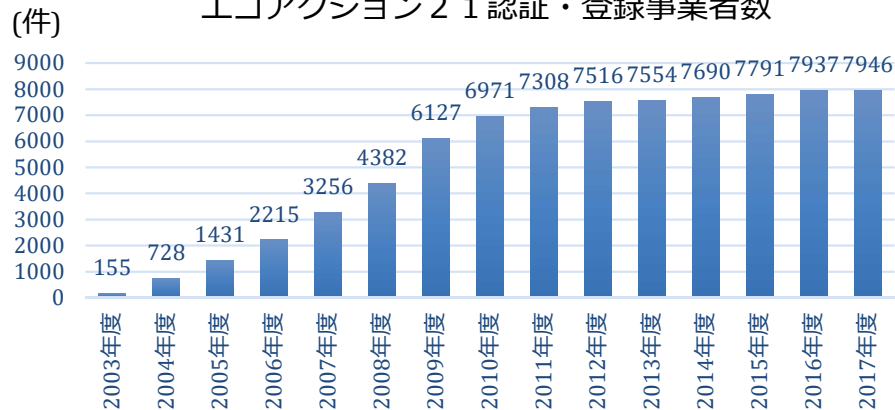
## 事業目的・概要等

## 事業スキーム



## 期待される効果

EA21等の中小企業でも着手しやすい効果的なEMSの整備・普及促進を行うことで、事業規模や業種・業態にかかわらず、全ての企業が環境取組を実践する社会経済を後押しする。



## イメージ

